

平成30年度 認定こども園めぐたま 事業報告書

1. 保育目標

「自分大好き、仲間大好き、金山大好きな、生きる力にあふれる子ども」

- ◆ 自分大好き（自己認識）：ありのままの自分を愛する子ども
- ◆ 仲間大好き（他者認識）：仲間の中で、自分らしさを発揮する子ども
- ◆ 金山大好き（環境認識）：ふるさと金山を愛する子ども

2. こども園事業の実施内容

- ・0才児は2人からスタートしたが徐々に増え9月からは7名となりその後6名になった
- ・乳児部、特に0、1才児の需要が多い傾向は近年変わらない
- ・今後は園児数増員に対応するための保育士有資格者の確保が課題となるので来年度実施したい
- ・新園舎に移動して2年目ということもあり職員間の連携も深まり子どもたちはより安定した生活を送ることができた
- ・昨年度は乳児と幼児の交流が少なく、保育者同士の意思疎通を欠いていたが、今年度は子どもも大人も交流を密にしてきたことで、自然な形で交流できる雰囲気醸成することができた
- ・年長児に関しては小学校への連携を意識してセカンドステップを行っているので今後も継続的に推進し、定着を図りたい

(単位：人)

号級	0才児		1才児		2才児		3才児		4才児		5才児		計
	3号			2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号		
定員	6	12	18	35	5	40	5	40	5	40	5	163	
4月	2	12	19	31	4	24	7	34	5	138			
5月	4	13	19	32	3	24	7	34	5	141			
6月	4	13	19	32	3	24	7	34	5	141			
7月	6	12	19	31	4	24	7	34	5	142			
8月	6	12	19	31	4	25	6	34	5	142			
9月	7	12	19	31	4	25	6	34	5	143			
10月	7	12	19	31	4	25	6	34	5	143			
11月	6	11	19	31	4	25	6	34	5	141			
12月	6	11	19	32	3	25	6	35	4	141			
1月	6	11	19	32	3	25	6	35	4	141			
2月	6	11	19	32	3	25	6	35	4	141			
3月	6	11	19	32	3	25	6	35	4	141			

(H29：151人)

平成30年度 地域子育て支援拠点事業 事業報告書

1. 子育て支援センターの運営

- (1) 場 所 林業改善センター
- (2) 対 象 認定こども園等の施設に入園前のお子さんとその保護者など
- (3) 運営時間 月曜日から金曜日まで 9:00～15:00

2. 運営目標

「子育て中の全ての保護者を支援し、子どもと共に保護者自身の成長を促す場を創造する」

3. 事業内容

- ・今年度は町と連携しスタッフが3名いたので安心して運営することができた
- ・家庭育児支援金の交付を3回受け取り手との信頼関係を深めることができた
- ・子育て講座の実施など、子育てがっこうの内容が充実してきた
- ・きつねのボタンによる読み聞かせやこども園の園児との給食交流も好評だった
- ・「ママサークルおひさま」へのサポート（クッキング、フリーマーケット2回）
- ・木のおもちゃをさらに充実していきたい

4. 利用者数

(1) 事業実施時期等

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(2) 利用者数 合計 3,287人 子ども 1,758人 (H29:1,672人)

	開所日数(日)	参加組数(組)	参加人数(人)	子どもの数(人)
4月	20	113	241	129
5月	21	125	253	130
6月	21	133	290	149
7月	21	150	327	169
8月	19	118	254	141
9月	21	98	212	114
10月	22	128	274	141
11月	20	120	255	129
12月	18	110	264	146
1月	19	98	200	108
2月	18	167	374	203
3月	19	143	343	199
合計	239	1,503	3,287	1,758

平成30年度 放課後児童健全育成事業 事業報告書

1. 学童保育事業の運営

- (1) 対 象 小学校下校後、家庭で保育することができない児童
- (2) 運営時間 下校後から18:30まで 学校休業日(土曜日、代休日、長期休業日等)
- (3) 年間開所日数 274日
- (4) 料 金 同時利用の兄弟に対する減免(2人目半額、3人目以降無料)

2. 運営目標

「放課後を家庭で過ごすことのできない児童に対し、豊かな遊びと学びの場を提供する」

3. 事業内容

- ・毎日の外遊びや動物たちとの関りだけでなく子ども達による主体的な生活ルールの策定と定着を目指した
- ・今年で2回目になる学童祭りはそれぞれの子どもが自分のやりたいことを自然に仲間と協力して開催する姿を保護者に見せることができとても有意義であった
- ・畑からクッキングまで食を通して生きる力を育むことも楽しみながら行うことができた
- ・放課後デイサービスに通う障害児とも日々の暮らしを共にすることで初めは疎外やトラブルが起きたがそれを乗り越えることで互いを高めあうことができた

4. 学童出席児童数

(1) 事業実施時期等

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(2) 在籍平均数 28.8人/月 出席児童数 4,211人/年 (H29: 4,463人/年)

(単位: 人)

	開所日数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	延べ人数
4月	23	13	12	2	3	3	1	34	441
5月	24	14	12	2	2	3	0	33	441
6月	26	13	12	2	0	2	0	29	463
7月	24	15	13	2	1	3	0	34	433
8月	22	16	13	2	1	3	0	35	420
9月	22	12	11	2	0	3	0	28	335
10月	26	11	10	2	0	3	0	26	349
11月	23	11	11	2	0	3	0	27	360
12月	22	11	11	2	0	3	0	27	308
1月	16	11	10	2	0	2	0	25	180
2月	23	11	10	1	0	3	0	25	241
3月	23	10	9	1	1	2	0	23	240
合計	274	148	134	22	8	33	1	346	4,211

(3) 学校別学年別在籍数 合計 39人 (H29: 38人)

(単位: 人)

学年 学校	1	2	3	4	5	6	合計
金山小	13	13	3	4	3	1	37
明安小		2					2
有屋小							
計	13	15	3	4	3	1	39

平成30年度 一時預り事業 事業報告書

1. 一時預り事業の運営方針

- (1) 対象 保護者の傷病、家族の看護、冠婚葬祭、事故等により、緊急に家庭での育児が困難となる場合。または、保護者の育児に伴う心理的、肉体的負担を軽減・解消するために必要な場合。
- (2) 運営時間 8:00～16:00 (早朝、延長保育が必要な場合は要相談)
- (3) 利用期間 月10回の利用を限度とする

2. 運営目標

「何らかの理由により過重な育児負担を感じている保護者に対し、その育児負担を一時的にでも救済し、その後の子育てに前向きに取り組めるよう共感的に支援していく」

3. 保育内容

- ・ こども園の園児との交流
(日常保育の中、年齢別保育の中でお散歩やごっこ遊びで楽しく過ごせるよう工夫していった)
- ・ 家庭生活において食事排泄等の生活指導が十分でない分を支援した
(送迎の際に保育者と話をしたりノートで伝達していった)
- ・ 里帰り出産や一時的な帰郷の際に安心して利用してもらえるようになってきた
- ・ 今年度は乳児保育の需要が高まり一時預かり事業に割けるスタッフがいなかったの
来年度は十分な有資格者を確保したい

4. 利用者数 11人/年 (H29:23人)

(単位:人)

年齢 月	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	合計
4月	0	2				2
5月	2	1				3
6月	0	0				0
7月	0	2				2
8月	0	0				0
9月	4	0				4
10月	0	0				0
11月	0	0				0
12月	0	0				0
1月	0	0				0
2月	0	0				0
3月	0	0				0
合計	6	5				11

平成30年度 障害児通所支援事業 事業報告書

1. 障害児通所支援事業の運営方針

- (1) 対 象 障害及び生きることに困難を有する子ども達
 ・早期発達支援事業：0～5才児、乳幼児
 ・放課後等デイサービス事業：6～18才、小・中・高校生
- (2) 運営時間 9：00～17：00
- (3) 利用期間 通年

2. 運営目標

「障害、年齢、性別、人種の壁を越えて協力し合い共存している社会。命のつながりの中で生かされて命をつなぐために生きる。そのような基本的な価値観を地域循環型社会の中で子ども達に伝えていくことを目的とする」

3. 事業内容

- (1) 早期発達支援事業
 ・障害のある乳幼児に乗馬療育を行うことにより、子供たちの興味・やる気を引き出し、体力や身体バランスの向上、社会生活を豊かにする。また育児に不安を抱えている保護者への相談支援を行う。
- (2) 放課後等デイサービス事業
 ・セッション型：45分の中で騎乗だけでなく、馬房掃除や鞍のつけ外し、えさやりなどを一連の流れとして自ら行うことで、自発的に馬とともに暮らすリズムや自信を培う。
 ・預かり型：障害を持つ子の学童保育のように、放課後や長期休み時の居場所となる。どちらも子ども一人ひとりにあった個別支援計画を作成し評価ながら、その子の発達に必要な訓練や指導を行っている。

4. 利用者数

- (1) 早期発達支援事業 合計 9人 (H29：0人)
 (2) 放課後等デイサービス事業 合計 350人 (H29：242人)

(単位：人)

学年 月	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中2	合計
4月	0	0	16	9			3	4	32
5月	0	0	13	6			1	2	22
6月	0	0	6	11			4	4	25
7月	0	0	13	10			3	4	30
8月	1	1	13	4			3	3	25
9月	1	3	14	11			4	3	36
10月	1	6	14	7			2	3	33
11月	2	4	16	8			5	3	38
12月	1	2	13	4			2	4	26
1月	1	0	7	6			3	2	19
2月	1	1	16	8			3	3	32
3月	1	1	16	12			3	8	41
合計	9	18	157	96	0	0	36	43	359